

2026年度 定期総会 議案書

全員主役 全員集合 全員笑顔



しゅわりん

2026年4月19日(日) 10:00～12:00
千葉聴覚障害者センター 3階 多目的ホール (予定)

総会資料に同封したはがき(データ配信希望者を除く)を記載し、ちば通研事務所に4月15日(水)まで必着でお願いします。

千葉県手話通訳問題研究会

2026年度 総会 式次第

- 1 司会あいさつ
- 2 開会
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 来賓あいさつ
- 3 議長、書記選出、議事録署名人指名
- 4 資格審査
- 5 議事
 - (1) **第1号議案 2025年度活動報告について**
 - ① 活動報告総括
 - ② 各部・各班活動報告
役員会・関東通研、広報部、組織部(地域班・N-Action ちば)、研究部、医療班、健康対策班、楽しく未来社会学習班、保育・子育て支援班、ろう教育班、労働班、ICT ちば、サポーターズ、講師派遣、書籍、協会後援会、事業運営・制度
 - (2) **第2号議案 2025年度会計決算報告及び監査報告について**
 - (3) 第1号議案、第2号議案に対する質疑及び採決
 - (4) **第3号議案 2026年度活動計画(案)について**
 - ① 活動計画方針(案)
 - ② 各部・各班活動計画(案)
役員会・関東通研、広報部、組織部(地域班・N-Action ちば)、研究部、医療班、健康対策班、楽しく未来社会学習班、保育・子育て支援班、ろう教育班、労働班、ICT ちば、サポーターズ、講師派遣、書籍、協会後援会、事業運営・制度
 - (5) **第4号議案 2026年度予算(案)について**
 - (6) 第3号議案、第4号議案に対する質疑及び採決
- 6 議長・書記解任
- 7 その他
 - ① 代議員選出(選挙管理委員会からの報告)
 - ② 全国手話研修センター後援会・災害基金・デフサポーターなど
- 8 閉会あいさつ

※会場＋集団視聴・個人視聴にて総会を開催。

【会長挨拶】 全員主役！ 全員集合！ 全員笑顔！

2026年度の総会は、千葉聴覚障害者センターの会場と地域班の集団会場、個人視聴をオンラインで繋ぎハイブリットで開催いたします。

会員の皆さまには、日頃よりちば通研の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

2025年度は、日本の手話の歴史に残る記念すべき一年となりました。

全日本ろうあ連盟が、2010年から15年かけ取り組んできた手話言語法制定に向けた全国的な運動が実を結び、「手話に関する施策の推進に関する法律」（手話施策推進法）が、2025年6月18日に衆議院本会議において全会一致で可決、成立し、6月25日に施行されました。

法律に手話言語という文言は表記されませんでした。手話を必要とする子供や親、学校における手話の習得の支援、職場の環境整備、災害時等の安全確保、専門的知識・技能を有する人材の確保、手話文化の保存・継承・発展。そして9月23日を「手話の日」と定め、国民の理解と関心の増進が盛り込まれました。今後、国・地方自治体の責務として、この法律に定められた施策が確実に実施されるよう行政や関係機関に働きかけていくことが必要とされています。

また同時に地方自治体における手話言語条例の制定も加速し、2025年度、千葉県でも、千葉市、八街市、四街道市で条例が施行されました。その後も条例のための学習会が各地で広がりつつあります。

そして何と云っても、11月に日本で初めて開催された「東京2025デフリンピック」は、私たちの脳裏に強烈に焼き付き忘れることのできない大会となりました。全日本ろうあ連盟率いる気運醸成の取り組みは1年以上前から全国で始まりました。千葉県でも「みんなのデフリンピック」の上映会、デフアスリートサポーター支援、県民市民への啓発イベント、デフリンピックキャラバンイベント、県協会主催のおもてなしイベント等々、多くの会員が積極的に活動に参加協力してきました。

そして競技会場での手話ボランティア、国際手話通訳・日本語の手話通訳ボランティアとして活躍された方々、会場に何度も足を運び競技を生で観戦し応援を楽しんだ方々、海外のデフアスリートと覚えたての国際手話で交流された方々、デフリンピックを盛り上げ思いきり楽しんだこの貴重な経験は偶然にもこの時代を生き、きこえない仲間と活動してきた私たちにとって、かけがえのないものとなりました。

ちば通研としても、千葉県聴覚障害者協会や地域のろう協の活動を支援し、誰もが暮らしやすい社会となるよう、きこえない仲間や手話通訳者、手話の理解を広げるため活動を実践できるよう共に学び活動してまいります。

2026年度も引き続き、会員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【活動報告総括】

2025年度の定期総会は、4月20日(日)千葉聴覚障害者センターの会場と地域班の集団視聴会場、個人視聴のハイブリットで開催しました。

午後より「ちば通研講座」を開催し、ろう難聴教育研究会運営委員、元大塚ろう学校教員の南村洋子氏を講師にお迎えし『きこえない子を育て関わって、今思うこと』と題して講演をいただきました。

地区講座は、ブロックごとそれぞれ地域の課題に沿ったテーマで、2地区がハイブリットで、3地区は対面で開催しました。外部講師を招いて、普段とは違う側面から学びを深めた地区講座もありました。

通信が途中で途絶えてしまうトラブルにより、オンライン参加者にご迷惑をおかけしました。今後安定したオンライン配信と見逃し配信が課題となっています。

N-Action ちばは、茶話会を開催し青年部との交流を図り、関東N-Action のつどいにも参加しました。

健康対策班は、8月2日(土)蘇我コミにて、福岡IPS就労支援センター長の倉知延章氏を講師に「通訳と健康について」学習会を開催しました。手話通訳者の心に寄り添った視点でアサーティブ・コミュニケーションについて学びました。

また、保育子育て支援班は、1月25日(日)松戸市ふれあい22にて、千葉県聴覚障害者協会の女性部より講師をお招きし、「きこえない人の子育て～今と昔～」と題し講演会と座談会を開催しました。

医療班は「ちば通研だより」に医療の情報を掲載し、耳の日まつりでは、医療相談コーナーを設け協力しました。各専門班も交代で「ちば通研だより」の専門班の記事を担当しました。

広報部は毎月「ちば通研だより」を発行し、秋にはデフリンピック特集を掲載しました。データ配信登録者が112人となりましたが、毎月サポーターの協力を得ながら発送作業を行いました。

2月11日(水・祝)千葉県文化会館にて、「手話を考えるフォーラムが2025in千葉」が開催されました。3団体会議でテーマ、内容等を話し合い、司会者・助言者を選出し4つの分科会で討議しました。ちば通研は第4分科会「医療」を担当しました。

3月20日(金・祝)千葉聴覚障害者センターにて、千葉県聴覚障害者協会と労働対策班と合同で労働フォーラムが開催されました。「障害者雇用の今後と課題について」と題し、千葉県障害者就業支援キャリアセンター長藤尾健二氏の講演会がありました。

関東通研と関東ろう連の合同企画として、2月14日(土)東京都大田区池上会館で防災フォーラムが開催され、ちば通研として講演会の企画運営に協力しました。

「東京デフリンピック2025」開催にともない、気運醸成キャラバンイベントに協力された方、また国際手話の講座を受講し、千葉聴覚障害者センターのおもてなしイベントのボランティアに参加された方、そして競技会場でのボランティアや国際手話通訳として活躍された方等、多くの会員がデフリンピックにかかわり活動した1年となりました。

【2025年度 活動実績報告】

月	ちば通研	全国・関東・その他
4	6日 役員会① 議案書などの集荷 19日 組織部会議① 20日 ちば通研定期総会(ハイブリッド) ちば通研講座(南村洋子氏) 22日 広報部会議① 25日 ちば通研だより印刷・発送 26日 役員会② 27日 医療班学習会①	12日 第1回活動運営委員会 協会後援会理事会① 13日 大阪万博 ～10/13 20日 関東ろう連盟評議員会(埼玉) 26日 全通研代議員会ブロック別会議 (神奈川)
5	17日 組織部会議② 24日 保育・子育て支援班学習会① 24日 労働班学習会① 25日 楽しく未来社会学習班学習会① 26日 医療班学習会② 27日 広報部会議② 30日 ちば通研だより印刷・発送 172	10日 関東ブロック総会(埼玉) 関東通研支部代表者連絡会議 第2回活動運営委員会 協会後援会理事会② 18日 後援会総会・新芽まつり 24日 千葉聾学校運動会 24・25日 全通研代議員会(神戸)
6	1日 地域班会議① 役員会③ N-Actionちば学習会① 20日 ICTちば会議① 21日 組織部会議③ 健康対策班学習会① 24日 広報部会議③ 27日 ちば通研だより印刷・発送 29日 東総地区講座(佐倉市) 医療班学習会③	12～15日 全国ろうあ者大会(岩手) 視察団派遣 13日 全国福祉担当者会議 全国組織担当者会議 21日 日本手話通訳士協会学会 22日 日本手話通訳士協会学会・総会 27～29日 関東ろう者体育大会(茨城) 29日 千葉・会員代表者会議&会員総会 全国手話研修センター後援会総会 30日 千葉聾学校学校公開
7	6日 役員会④ 12日・13日 医療班一泊研修会 20日 広報部会議④ 組織部会議④ 21日 ろう教育班学習会① 25日 ちば通研だより印刷・発送 27日 楽しく未来社会学習班学習会② 労働班学習会② 医療班学習会④	5日 ほたるイベント 12日 第3回活動運営委員会 協会後援会理事会③ 19日 なるほど研修会 関東デフリンピックイベント 27日 関東通研支部代表者連絡会議・ 組織担当者会議 手話通訳士学科試験
8	2日 健康対策班学習会②・講演会 役員会⑤ 16日 組織部会議⑤ 26日 広報部会議⑤ 29日 ちば通研だより印刷・発送 173 31日 総武地区講座(八千代市)	7日 全国情報・コミ担当者会議 8～10日 サマーフォーラムin京都 9日 健康よろず相談 N-Actionつどい 30・31日 全国ろうあ女性大会(東京) 31日 高校生手話スピーチコンテスト

	医療班学習会⑤	
9	7日 地域班会議② 役員会⑥ 13日 健康対策班学習会③ 20日 組織部会議⑥ 21日 労働班学習会③ 23日 広報部会議⑥ 26日 ちば通研だより印刷・発送 27日 N-Actionちば茶話会 28日 楽しく未来社会学習班学習会③ 医療班学習会⑥	13日 第4回活動運営委員会 協会後援会理事会④ 世界陸上 ～9/21 13～15日 全国ろうあ青年研究討論会 (岐阜) 19～21日 全国ろうあ者体育大会(香川) 23日 手話言語の国際デイ キャラバンイベント 26～28日 全国ろうあ高齢者大会 (北海道) 28日 関東支部代表者連絡会議 手話通訳士実技試験
10	5日 役員会⑦ 保育・子育て支援班学習会② N-Actionちば学習会② 11日 北総地区講座(松戸市) 19日 研究部会 ICTちば② 25日 ろう教育班学習会②(鎌取) 26日 組織部会議⑦ 医療班学習会⑦ 28日 広報部会議⑦ 31日 ちば通研だより印刷・発送	4日 全通研代議員会ブロック別会議 関東通研学習会(神奈川) 11日 手話検定試験(5級・4級) 12日 手話検定試験(3級・2級) 18日 手話検定試験(準1級・1級) 19日～26日 キャラバンカー千葉県内 巡回 24・25日 千葉聾学校银杏祭 25～27日 全国障害者スポーツ大会 (滋賀)
11	2日 役員会⑧ 8日 組織部会議⑧ 25日 広報部会議⑧ 28日 ちば通研だより印刷・発送 174 ICTちば③ 30日 医療班学習会⑧	8日 第5回活動運営委員会 協会後援会理事会⑤ 15日～26日 デフリンピック 23日 秋穫祭 29日 関東通研支部代表者連絡会議 学習担当者会議
12	7日 地域班会議③ 役員会⑨ 20日 組織部会議⑨ 21日 医療班学習会⑨ 23日 広報部会議⑨ 26日 ちば通研だより印刷・発送	6日 手話通訳者全国統一試験
1	4日 役員会⑩ 6日 健康対策班学習会④ 11日 研究部会議 21日 保育・子育て支援班学習会③ 24日 組織部会議⑩ 役員会⑪ 25日 保育・子育て支援班ミニ講演会 医療班学習会⑩	17日・18日 関東ろう活動者研修会 (千葉・九十九里) 24・25日 N-Action合宿(宮崎) 25日 関東支部代表者連絡会議 健康担当者会議

	27日 広報部会議⑩ 30日 ちば通研だより印刷・発送	
2	7日 中央地区講座（千葉市） 8日 ろう教育班学習会③ N-Actionちば学習会③ 15日 労働班、福祉労働委員会合同 学習会 21日 組織部会議⑪ 22日 地域班会議④ 役員会⑫ 医療班学習会⑪ 24日 広報部会議⑪ 26日 楽しく未来社会学習班学習班④ 27日 ちば通研だより印刷・発送 175	1日 関東N-Actionのつどい（埼玉） 6・7日 全国労働担当者会議（近畿） 全国ろうあ者相談員研修会 全国職業安定所手話協力員等 研修会兼ろうあ者労働問題フ ォーラム 7日 第6回活動運営委員会 協会後援会理事会⑥ 11日 手話を考えるフォーラム 15日 関東防災フォーラム（東京） 13～15日 全国ろうあ者冬季体育大会 21日 手話関係者の健康フォーラム
3	1日 南総地区講座（君津市） 14日 健康対策班学習会⑤ 21日 組織部会議⑫ 22日 役員会⑬ 医療班学習会⑫ 24日 広報部会議⑫ 27日 ちば通研だより・議案書発送	8日 第45回耳の日まつり（館山） 20日 労働フォーラム 29日 千葉・会員代表者会議&会員総会

【定期総会】

千葉聴覚障害者センターと集団視聴会場をオンラインで結んで定期総会を開催しました。参加者は、会場 31 人、集団視聴会場 10 会場 63 人、個人視聴 5 人、委任状 156 人の合計 255 人でした。

No.	期日	曜	内 容	会 場	人数
1	4/20	日	2024年度活動報告・決算 2025年度活動計画・予算	千葉聴覚障害者 センター	255人

【役員会】

2025 年度は、オンラインを中心に対面でも 3 回行いました。議題をしっかりと話し合い、共有して活動を行うことができました。

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	4/ 6	日	総会・会計・各種報告	千葉聴覚障害者センター	24人
2	4/26	土	会計・講座 I ・地域班会議	オンライン	14人
3	6/ 1	日	総会講座の反省・ほたるイベント	蘇我コミュニティセンター	15人
4	7/ 6	日	サマーフォーラム・役員選出方法	オンライン	13人
5	8/ 2	土	キャラバンイベント・必携	蘇我コミュニティセンター	14人

6	9/ 7	日	通信トラブル・中間監査	オンライン	11人
7	10/ 5	日	キャラバン特集・秋穫祭	オンライン	17人
8	11/ 2	日	手話を考えるフォーラム・防災担当	オンライン	16人
9	12/ 7	日	関東ろう活動者研修・関東N-Action	オンライン	15人
10	1/ 4	日	地区講座・手話を考えるフォーラム	オンライン	14人
11	1/24	土	全通研議案書・耳の日まつり	オンライン	13人
12	2/22	日	議案書作成・地域班会議報告	オンライン	14人
13	3/22	日	議案書・総会・講座 I	オンライン	19人

【三団体会議・デフリンピック気運醸成委員会】

千葉県聴覚障害者協会・千葉県手話サークル連絡協議会との三団体会議の他にデフリンピック気運醸成委員会が行われ、デフリンピックイベントについて話し合い、協力団体として共に活動しました。会議は全て対面で行われました。

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	4/21	月	第1回 3 団体会議 年間行事について	千葉聴覚障害者センター	4人
2	5/28	水	気運醸成拡大委員会 ホタルイベント	千葉聴覚障害者センター	2人
3	7/ 2	水	気運醸成本部委員会 ホタルイベント	千葉聴覚障害者センター	2人
4	7/31	木	第2回 3 団体会議 手話フォーラム キャラバンイベント	千葉聴覚障害者センター	3人
5	10/31	金	第3回 3 団体会議 キャラバンイベント 手話フォーラム	千葉聴覚障害者センター	1人
6	11/13	木	第4回 3 団体会議 手話フォーラム おもてなしイベント	千葉聴覚障害者センター	3人

【災害時・緊急時における通訳派遣再構築検討委員会】

千葉県における災害時・緊急時における通訳派遣再構築検討委員会に、ちば通研の代表として2人が委員となり会議に出席しました。

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	12/22	月	目的、活動スケジュール 行政アンケート	千葉聴覚障害者センター	2人
2	1/26	月	行政アンケート集計状況	千葉聴覚障害者センター	2人
3	2/ 5	木	行政アンケート中間報告	千葉聴覚障害者センター	2人
4	2/16	月	行政アンケート報告	千葉聴覚障害者センター	2人
5	3/ 1	日	行政アンケートデータ分析について	千葉聴覚障害者センター	1人
6	3/16	月	編集担当について	千葉聴覚障害者センター	2人
7	3/23	月	調査報告書について	千葉聴覚障害者センター	1人
8	3/30	月	最終確認	千葉聴覚障害者センター	1人

【関東手話通訳問題研究会】

2025年度は、総会をはじめ、学習会で集まる機会が増えました。各支部で出された課題をもとに、担当者会議のテーマを決め、開催しました。

1 関東手話通訳問題研究会 支部代表者連絡会議など

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	4/27	日	代議員会ブロック別会議	横浜市健康福祉総合センター31人	4人
2	5/10	土	総会	越谷市中央市民会館 32人	5人
3	5/10	土	支部代表者連絡会議	越谷市中央市民会館 25人	5人
4	7/27	日	支部代表者連絡会議	オンライン 22人	2人
5	7/27	日	組織担当者会議	オンライン 22人	3人
6	10/ 4	土	代議員会ブロック別会議	かながわ労働プラザ 30人	4人
7	10/ 4	土	長期ビジョン学習会	かながわ労働プラザ 28人	4人
8	11/29	土	支部代表者連絡会議	オンライン 20人	1人
9	11/29	土	学習担当者会議	オンライン 19人	2人
10	1/25	日	支部代表者連絡会議	オンライン 14人	2人
11	1/25	日	健康担当者会議	オンライン 18人	2人

<合同防災フォーラム>

No.	月日	曜	学習内容	会場	人数
1	2/14	土	令和6年能登半島地震～被災者の現状と今後の課題～ 藤平淳一氏	東京都大田区池上池上会館 61人	支部6人 ろう5人

【広報部】

「ちば通研だより」の内容の充実のため、月1回の広報部会議を開催しました。

2025年度は、東京2025デフリンピック特集を記載しました。ボランティアに選ばれた会員からの体験報告や11月号ではキャラバンカーの各地での様子を特集しました。

また、12月号では地域班通信には競技会場に行かれ応援された班員からのコメントを掲載しました。

シリーズでは黒岩史郎さんの「福祉の現場を経験して しろろが語る！」を13回連続して掲載しました。また、地域班の持ち回りによる「私のイチオン」、専門班の活動を掲載しました。

「ちば通研だより」はサポーターズの協力をいただき12回発行しました。サポーターズ以外の人のお手伝いもありました。

2 広報部会議

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	4/ 6	日	新しい編集者との打ち合わせ	オンライン	3人
2	4/22	火	手順の確認・6月号内容	オンライン	5人
3	5/27	火	6月号確認・7月号掲載内容確認	オンライン	4人
4	6/24	火	7月号確認・8月号掲載内容確認	オンライン	4人

5	7/20	日	8月号確認・9月号掲載内容確認	オンライン	4人
6	8/26	火	9月号確認・10月号掲載内容確認	オンライン	5人
7	9/23	火	10月号確認・11月号掲載・特集	オンライン	5人
8	10/28	火	11月号確認・12月号掲載内容確認	オンライン	5人
9	11/25	火	12月号確認・1月号掲載内容確認	オンライン	4人
10	12/23	火	1月号確認・2月号掲載内容確認	オンライン	5人
11	1/27	火	2月号確認・3月号掲載内容確認	オンライン	3人
12	2/24	火	3月号確認・4月号掲載内容確認	オンライン	4人
13	3/24	火	4月号確認・5月号掲載内容確認	オンライン	4人

<ちば通研だより 発行一覧>

号数	一面記事	主な内容
4月号	ちば通研講座	「しろうが語る」連載開始
5月号	会長挨拶	総会・ちば通研講座報告
6月号	サマーフォーラム in きょうと	代議員会報告・関東通研総会報告
7月号	健康対策班学習会	地域班会議報告・ろうあ者大会報告
8月号	手話施策推進法可決成立	東総地区講座・関東一斉行動
9月号	手話の日	サマーフォーラム報告・総武地区講座
10月号	キャラバンカー	総武地区講座・安否確認訓練
11月号	デフリンピック はじまる	特集キャラバンカーが千葉県を走る
12月号	デフリンピック 大成功	開閉会式報告・応援者の感想
1月号	会長挨拶	全通研会長挨拶・地域班会議報告
2月号	手話を考えるフォーラム	関東ろう活動者研修会・関東通研会議
3月号	定期総会のお知らせ	代議員選出告示・新シリーズ開始

<ホームページ>

役員会の責任の下、ホームページを随時、更新しています。

行事、役員会、専門班、地域班会議などの様子をホームページに掲載し、ちば通研活動の情報提供を行っています。

会員専用ページに、ちば通研だより、講座のチラシや講演資料などを掲載しました。

ホームページ公開に関する契約変更に伴い、1月15日より無料プランから有料プランに切り替えました。

データ配信に伴い、ちば通研だよりは毎月サポーターズ印刷日にホームページに掲載しました。データ配信希望者は3月23日現在112人です。

会員専用ページのパスワードを2025年6月2日に変更しました。

毎年6月の地域班会議終了後にパスワードを変更します。

【組織部】

1 活動報告

① 会員拡大

2025年度末の会員数は、目標350人に対して335人、前年度比7人増でした。2024年度は前年度比12人増でしたので、半減しました。新規会員は25人、再入会0人、

退会者は18人（昨年度16人）でした。また、船橋班の+3人を筆頭に、8つの地域班が2024年度より会員数を増やすことができました。地域班を結成していない市の会員への働きかけを行ってきましたが、結成には至っていません。

会員登録書は新規加入者を含めて全会員から提出されました。この会員登録書は、本部に届ける会員属性などの資料作成のためには必要不可欠なものです。2025年度は、会員登録書のオンライン化（フォーム）を行い、提出や管理の簡易化を図りました。

② 学習活動とオンラインの活用

5つの地区の主催による地区講座が復活して2年目、各地区でテーマと講師に工夫が見られました。東総地区は「ちば通研だより」の連載を深掘りし社会福祉や聴覚障害者の制度を学びました。総武地区と北総地区は手話施策推進法の成立に合わせて地域の手話言語等条例の制定に結びつけて学ぶ連続講座として開催しました。また、実践・参加型の講座として、傾聴をテーマに外部講師（カウンセラー）とコミュニケーション技術を学んだ中央地区、会員の防災士とともに避難所運営ゲームなどワークショップを中心に行った南総地区、いずれも地域班が企画する地区講座の良さを発揮した1年でした。

総会・ちば通研講座や総武地区講座と北総地区講座は、ハイブリッド方式（会場とオンライン同時配信）で行い、多くの参加者が集いましたが、Wi-Fiが切れる障害がありました。そのため参加者のみを対象にした録画配信も実施しましたが、オンライン配信の見直しも迫られています。

なお、講師派遣制度を活用した地域班学習会は、1回に留まりました。

③ 災害対策

10月に実施した安否確認訓練では、対象となる地域班に所属する会員（浦安市・我孫子市会員を含む）320人のうち212人（66.3%）が回答を寄せました。2024年度とほぼ同じ結果となっています。

2023年度から災害MLの連絡者の固定と、安否確認を個人がフォームに入力する方式に移行しました。2024年度は、災害MLの着信確認を重ねました。しかし、2025年度も、災害MLの着信が確認できないケースや、連絡者の変更の希望も絶えない状況です。安否確認の結果の活用も含め、被災時に実際に生きる取り組みにはつながっていません。それでも、12月の地域班会議では、地域で行っている防災・減災対策について交流しました。積極的に協会や行政と連携して取り組んでいる例に関心が寄せられました。

④ 全国手話研修センター後援会

日本の手話の発展の礎となる社会福祉法人全国手話研修センターを支える後援会の会費・寄付金は主に手話総合資料室の運営に使われています。千葉県の場合は、2026年1月末現在、181人（ろう者47・きこえる人134）で関東ではトップの数となっていますが、目標に対しては64.6%（全国44.3%）に留まっています。

2 組織部会議

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	4/19	土	定期総会準備・組織部の活動概要	オンライン	5人
2	5/17	土	東総地区講座準備・地域班会議準備	オンライン	6人

3	6/21	土	地区講座・安否確認訓練	オンライン	6人
4	7/20	日	N-Actionちば茶話会・総武地区講座	オンライン	6人
5	8/16	土	地域班会議	オンライン	6人
6	9/20	土	手話施策推進法と条例の取り組み	オンライン	5人
7	10/26	日	地区講座の課題・安否確認訓練の結果	オンライン	4人
8	11/ 8	土	役員選出アンケート結果・地域班会議	オンライン	6人
9	12/20	土	総会準備・防災対策・地区講座	オンライン	4人
10	1/24	土	総会準備・防災対策・地区講座	オンライン	4人
11	2/21	土	総会準備・地区講座・地域班会議	オンライン	6人
12	3/21	土	地域班新結成・総会・ちば通研講座 I	オンライン	6人

3 地域班会議

No.	期日	曜	会 場	班数	人数	役 員
1	6/ 1	日	蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館	17班	18人	13人(2人兼)
2	9/ 7	日	オンライン	18班	19人	13人(2人兼)
3	12/ 7	日	オンライン	17班	17人	13人(3人兼)
4	2/22	日	オンライン	12班	12人	11人(1人兼)

4 安否確認訓練

No.	期日	曜	実施時間	報告
1	10/18	月	災害ML通知 8:50	19地域班+2市 212人 66.3%(対象会員320人中)

5 ちば通研講座

No.	期日	曜	テーマ	講 師	人数
1	4/20	日	聞こえない子を育て関わって、今、思うこと	南村 洋子	114人

6 地区講座

No.	期日	曜	テーマ	講 師	担当地域班	人数
1	6/29	日	しろうが語る！ 番外編	黒岩 史郎	佐倉班	38人
2	8/31	日	「手話施策推進法」温故知新	渡辺 正夫	八千代班	66人
3	10/11	土	手話言語条例の制定前後の活動と手話施策推進法の内容と動向	川根 紀夫	松戸班	91人
4	2/ 7	土	「傾聴」って何だろう？	山口 浩康	千葉市班	33人
5	3/ 1	日	誰も取り残さない避難所とは	三澤 輝之	かずさ班	30人

7 講師派遣

No.	期日	曜	テーマ	講 師	地域班名	人数
1	6/22	日	ろう教育～私が思ったこと…	上條 文裕	成田班	18人

8 Zoom 利用状況

No.	期日	曜	地域班	利用目的	人数
1	5/ 2	金	千葉市班	千葉市手話言語に関する条例(案)パブコメについて	11人
2	5/19	月	千葉市班	学習会担当者打ち合わせ	7人
3	6/ 7	土	成田班	地域班学習会講師と打ち合わせ	3人
4	7/15	火	千葉市班	学習会事前打ち合わせ	8人
5	8/21	木	千葉市班	学習会事前打ち合わせ	7人
6	9/24	水	千葉市班	学習会事前打ち合わせ	7人
7	12/ 1	月	千葉市班	学習会事前打ち合わせ	7人
8	12/15	月	千葉市班	中央地区講座打ち合わせ	5人
9	1/22	木	千葉市班	中央地区講座打ち合わせ	7人

9 地域班報告

《1 かずさ班》 班長 鈴木 幸子

①2025 年度班員数 25 人（継続者 23 人）

②活動報告（まとめ）

- ・定例学習会を開催（月 1 回）、地域ろう者と共に地域の問題・課題について学習することができた。
- ・2025 年度は南総地区講座を担当。他の行事を考えての日程調整に苦慮したが、災害をテーマに無事実施することができた。定例学習会を継続して開催、課題や問題について地域ろう者と共に考え学習に取り組むことができた。

③活動計画（案）

- ・定例学習会を中心に、地域ろう者と共に学び活動する。
- ・災害対策について取り組む。

《2 習志野班》 班長 春山 直美

①2025 年度班員数 8 人（継続者 6 人）

②活動報告（まとめ）

- ・班のライングループでの情報交換。
- ・奇数月第 2 水曜日に手話サークル羽の会との合同例会を行った。
- ・奇数月第 3 日曜日にオンラインにて班会議を行った。
- ・集中講座（統一試験受験者と班員向け 1 回）を開催。
- ・ちば通研講座のオンライン集団視聴での参加。

③活動計画（案）

- ・聴覚障害者協会・手話サークルと連携し学習会を充実させる。
- ・手話通訳を目指す人たちと班員向けの集中講座を開催する。
- ・班会議にて情報交換や手話通訳問題研究の読み合わせして理解を深める。

《3 鎌ヶ谷班》 班長 市村 優子

①2025 年度班員数 23 人（継続者 23 人）

②活動報告（まとめ）

- ・班総会 4/5
- ・地区講座（個人で申込）
- ・学習会 6/7、9/13、12/13、3/14

機関誌の読み合わせ

手話言語条例、65歳の壁、蛇の目寿司事件のミニ講演を行う。

③活動計画（案）

- ・定例学習会を継続し、内容の充実を図る。
- ・新規会員の呼びかけをします。

《4 千葉市班》 班長 山口 美香

①2025年度班員数 52人（継続者 48人）

②活動報告（まとめ）

- ・学習会を4回開催した。
6/28、8/24、10/12（千葉市聴覚障害者協会主催講演会に参加）、12/7
- ・中央地区講座を開催した。（2/7）
- ・千葉市障害者施策推進協議会に代表者が参加した。（6/25 千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例成立）
- ・千葉市防災委員会が防災パンダナを作成し班員全員に配布した。
- ・千葉市三団体で構成する各委員会担当者が定例会議、行事等に参加、協力した。

③活動計画（案）

- ・三団体行事へ積極的に参加、協力する。
- ・隔月1回、学習会を開催する。
- ・年1回、千葉市三団体合同学習会を開催できるよう協会、千サ連に呼びかける。
- ・班員同士の交流を密にすると共に、新しい仲間を増やせるよう声掛けをする。

《5 八千代班》 班長 小島 麗子

①2025年度班員数 20人（継続者 18人）

②活動報告（まとめ）

- ・班会議は対面にて1回行った。
- ・総武地区講座を開催。
- ・アイラブ八千代（聴覚障害者協会と2サークルで構成）とともに、各行事、手話言語等条例の周知活動を行った。

③活動計画（案）

- ・班を継続運営するための具体的な方法を検討する。
- ・各種情報・災害時安否確認等が班員に確実に届くよう調整する。
- ・現会員の継続とサークル員や手話学習者への入会の呼びかけを行う。
- ・引き続き条例の周知に協力する。
- ・防災・減災に関する具体的な学習を深め、実際の行動に繋がられるようにする。

《6 八街班》 班長 久保田 和子

①2025年度会員数 7人（継続者 6人）

②活動報告（まとめ）

- ・手話言語条例制定に向けた取り組みに参加した
- ・手話言語条例制定後市協会と共に活動に取り組んだ
- ・他班とも交流することができた。

③活動計画（案）

- ・災害対策についての学習会を継続させる。

- ・手話言語条例活動を市協会と共に進めていく。
- ・通研活動について知ってもらい、新規会員を呼びかける。

《7 銚子班》 休会中

《8 山武地域班》 休会中

《9 東金班》 休会中

《10 印西班》 班長 鈴木 正子

① 2025 年度班員数 12 人（継続者 12 人）

②活動報告（まとめ）

- ・協会・サークル・印西班の3団体で市役所障がい福祉課への要望書に関し、現状の見直しと検討を行いました。
- ・対面での班活動を4回実施、手話サークルで学習班として協力しました。
- ・デフリンピックが開催されたことから、強化選手として取り組まれている様子（よもやま話）を伺いました。

③活動計画（案）

- ・会員同士の交流と情報交換、サークルでは難しい掘り下げた勉強を楽しく行いたいと思います。
- ・活動の周知と新規会員の呼びかけを引き続き行っていきます。

《11 松戸班》 班長 小瀬田 正子

①2025 年度班員数 24 人（継続者 23 人）

②活動報告（まとめ）

- ・学習会を10回開催、また北総地区講座（松戸班）を開催。
- ・ろうあ協会の協力により例会の参加者が増えた。その他三団体の合同行事、防災会議などに参加協力した。
- ・「保育・子育て支援班ミニ講演&座談会」松戸会場に参加。

③活動計画（案）

- ・サークル員や手話学習者のお誘いを続け、会員増を目指す。
- ・三団体の活動における協力者を増やす。
- ・ろうあ協会の協力頂き学習の機会を充実させる。

《12 船橋班》 班長 福島 直美

①2025 年度班員数 32 人（継続者 29 人）

②活動報告（まとめ）

- ・班学習会開催
- ・通研講座、地区講座に参加。
- ・福祉推進委員会の一員として、定例会、学習会などに参加。
- ・手話指導研究会に参加。

③活動計画（案）

- ・ちば通研講座、行事への参加。
- ・福祉推進委員会に参加。
- ・手話指導研究会に参加。

《13 市原班》 班長 澤 広美

①2025 年度班員数 15 人（継続者 13 人）

②活動報告（まとめ）

- ・定期総会（集団視聴）
- ・班会議を 3 回開催（6 月、9 月、12 月）
- ・ろう協主催の手話言語条例学習会に参加。学習会の中身は手話施策推進法について（7 回）
- ・10 月 18 日（土）講演会参加。テーマ：手話施策推進法と手話言語条例の違い ろう者と手話の世界～手話施策推進法よもやま話～講師：植野圭哉氏
- ・学習会を 2026 年 2 月 7 日（土）に開催
「防災」をテーマに市原市出前講座おでかけくんを利用。自分たちの住むまちの災害リスクと備えについて学んだ。参加者：14 名（ろう協会員 4 名、通研非会員 1 名を含む）
- ・南総支部義務研修会他、デフリンピック関連行事、手話を考えるフォーラム、耳の日まつりなど、市、県各団体の講座、行事への参加

③活動計画（案）

- ・集団視聴会場開設をする（2026 年度も公民館利用料減免 Wi-Fi 使用無料）。
- ・2025 年度も班会議、学習会を開き、学習の機会を充実させる。
- ・新規、継続会員を確保し、会員拡大に務める。

《14 海匝地域班》 班長 鵜飼 美奈子

①2025 年度班員数 12 人（継続者 9 人）

②活動報告（まとめ）

- ・西海匝ろう協会、旭市匝瑳市各手話サークルとの活動に参加。
- ・地域班グループ LINE にて情報共有。
- ・デフリンピック関連行事への参加・協力

③活動計画（案）

- ・引き続き、ろう協、サークルとの合同会議および、行事での交流参加。
- ・学習会の充実を図る。
- ・新規会員を増やす。

《15 柏班》 休会中

《16 我孫子班》 休会中

①2025 年度班員数 4 人（継続者 4 人）

《17 佐倉班》 班長 小野崎 比奈子

①2025 年度班員数 10 人（継続者 10 人）

②活動報告（まとめ）

- ・総会・ちば通研講座集団視聴、班定例会等 6 回開催。
- ・合同クリスマス会。
- ・デフリンピック気運醸成イベントに参加。デフリンピック観戦。
- ・地区講座開催。

③活動計画（案）

- ・隔月定例会の開催。

- ・市ろう協会と連携する。

《18 わかしお班》 班長 久我 和恵

①2025 年度班員数 13 人（継続者 11 人）

②活動報告（まとめ）

- ・オンライン研修。
- ・わかしお班会議。

③活動計画（案）

- ・会員拡大：各サークルや養成講座受講者に呼びかけをする。
- ・ろう協と連携し、防災について意識を高める。
- ・県サ連に加入し情報の各サークルの伝達等円滑に進められるよう協力、支援。
- ・6 団体で連携し手話施策推進法等の理解を深め広げていく。

《19 市川班》 班長 佐藤 美代子

①2025 年度班員数 14 人（継続者 13 人）

②活動報告（まとめ）

- ・ろう協のイベントやデフリンピックがあり例会は 5 回開催。
- ・例会では、班員の関心のあるテーマを持ち寄り話し合いました。また情報交換で話が盛り上がりました。
- ・デフリンピック機運醸成イベントに参加。

③活動計画（案）

- ・前年度同様隔月に 1 回の例会を開催。内容はその時々に関心事について話し合う。
- ・防災に関しては、市川市ろう者協会の危機管理委員会に参加し、各団体と協力し災害対策に取り組む。

《20 成田班》 班長 谷山 陸

①2025 年度班員数 9 人（継続者 9 人）

②活動報告（まとめ）

- ・三団体合同行事開催（納涼会・研修旅行・クリスマス会）
- ・成田班会議（7 回）

③活動計画（案）

- ・協会・サークルと連帯した学習会、行事の充実
- ・ちば通研の活動を知ってもらい班員を増やす。

《21 さんむ市班》 休班中

《22 大網班》 休班中

《23 横芝光町班》 休会中

《24 富里班》 班長 曾根原 けい子

① 2025 年度班員数 8 人（継続者 8 人）

② 活動報告（まとめ）

- ・定例会 6 回（4, 6, 8, 10, 12, 2 月）
- ・三団体合同行事（スポーツ交流会、日帰り研修旅行、クリスマス会）。

- ・手話言語の国際デーへの取組。
- ・デフリンピック関連イベントへの参加。

③活動計画（案）

- ・誰でも気軽に参加できるように努め、会員拡大を目指す。
- ・例会の充実（研究誌やDVDを取り入れた学習）。
- ・講座の集団視聴で非会員に呼び掛け、通研に関心を持ってもらう。

《25 流山班》 班長 高橋 奈奈

①2025年度班員数 15人（継続者 15人）

②活動報告（まとめ）

- ・定例会（2ヶ月に1回の頻度で開催） 研究誌を読む、ろう者の話を聞こう（DVD録画）、読取（DVD）、防災勉強会を開催。防災勉強会には、多くのろう者と非会員の参加がありました。
- ・手話言語条例普及のための活動（イベント、出前講座）、街頭カンパなど後援会活動。

③活動計画（案）

- ・会員拡大、定例会の開催。
- ・デフ協会、手話サークル連絡協議会と連携した活動及び後援会活動。

《26 白井班》 班長 齋藤 小百合

①2025年度班員数 6人（継続者 5人）

②活動報告（まとめ）

- ・白井班定例会は必要に応じてLINEビデオ電話と対面で行った。
- ・白井市聴覚障害者協会定例会には可能な限り参加した。
- ・防災対策として防災委員会及び防災交流会を白井市聴覚障害者協会、手話サークルと共に企画、実施した。

③活動計画（案）

- ・白井市聴覚障害者協会と力を合わせて聴覚障害者や手話に対する理解を広める。
- ・防災委員会の一員として会議に参加する。

《27 六つ星班》 班長 玉城 恵美子

①2025年度班員数 8人（継続者 8人）

②活動報告（まとめ）

- ・毎月1回班会議を行い、山武郡市の地域班としての活動内容について話し合った
- ・山武郡市聴覚障害者協会とともに行事に参加し、存在のアピールに努めた。

③活動計画（案）

- ・山武郡市聴覚障害者協会と共に地域で聴覚障害・手話についての理解を広める。
- ・ちば通研への興味関心が持てるよう、誰もがわかる学習会を開き、会員拡大に努める。
- ・手話言語条例の学習会や活動に参加する。

【N-Action ちば】

次世代活動に興味のある会員を対象とし、県内大学等手話サークルや千葉県聴覚障害者協会との連携を図りながら、次世代に活躍する人材を育成することを目的に活動しています。

2025年度は、子育て世代や遠方の会員も参加しやすいように、オンラインでのミーティング等を年4回計画しました。新しいメンバーが1人加入しました。N-Action ちば以外のメンバーにも参加していただけるように、対面での茶話会も実施しました。茶話会の案内を県内大学等手話サークルにもメールでお知らせしました。関東N-Action のつどいに運営スタッフとして1人参加しました。

<学習会>

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	4/ 7	日	中止		
2	6/ 1	日	茶話会について・青年部との連携	オンライン	4人
3	10/ 5	日	茶話会の反省・関東N-Actionのイベントについて	オンライン	4人
4	2/ 8	日	議案書・代表について	オンライン	3人

<その他>

No.	期日	曜	内 容	会 場	人数
1	9/27	土	N-Actionちば茶話会	cafe&diningオレンジ	5人
2	2/ 1	土	関東N-Actionのつどい	埼玉県障害者交流センター	1人

【研究部】

2025年度はデフリンピックの活動に専念するため、研究部の活動は行いませんでした。

<研究部会議>

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	10/19	日	デフリンピックに関する活動について 2026年度の活動について	オンライン	9人

【医療班】

毎月オンラインで学習会を行いました。

また、毎月ちば通研だよりに、さまざまな医療情報の提供を行いました。

一泊研修会は、いすみ市で開催しちば通研のPR とミニ出前講座を実施しました。

<学習会>

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
-----	----	---	---------	-----	----

1	4/27	日	役員会報告・医療班掲載記事・出前講座について	オンライン	12人
2	5/26	日	役員会報告・医療班掲載記事	オンライン	10人
3	6/30	日	役員会報告・医療班掲載記事	オンライン	13人
4	7/12 13	土 日	医療班一泊研修・地元手話サークル参加	いすみ市	8人
5	7/27	日	役員会報告・医療班記載記事・一泊研修報告	オンライン	9人
6	8/31	日	役員会報告・医療班記載記事・サマーフォーラム報告	オンライン	8人
7	9/28	日	役員会報告・医療班掲載記事・出前講座について	オンライン	11人
8	10/26	日	役員会報告・医療班記載記事	オンライン	6人
9	11/30	日	通研集会・役員会報告・手話を考えるフォーラム	オンライン	5人
10	12/21	日	役員会報告・医療班記載記事	オンライン	9人
11	1/25	日	医療班記載記事・耳の日まつりについて	オンライン	11人
12	2/22	日	役員会報告・医療班記載記事	オンライン	8人
13	3/ 8	日	耳の日まつり・健康相談コーナー	南総文化会館	7人
14	3/22	日	役員会報告・医療班記載記事	オンライン	12人

【健康対策班】

ちば通研のオンライン講座などの休憩時間に、ストレッチ体操を実施しました。ちば通研だよりに健康に関する情報を掲載し、地域で癒しの交流を深めました。

<学習会>

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	6/14	土	情報交換・近況について	オンライン	5人
2	7/19	土	健康対策班合同研修交流会	富津公民館・富津地域	7人
3	8/ 2	土	学習会 倉知延章氏（通訳と健康について）	蘇我コミュニティセンター	50人
4	9/ 3	水	学習会・交流会	印西地域	7人
5	12/13	土	中止		
6	1/ 4	日	2026年度事業内容について	オンライン	6人
7	3/14	土	2026年度日程確認・座談会交流会検討	オンライン	5人

【楽しく未来社会学習班(TMG)】

2025年度は、2024年度の学習資料(2024年12月22日川根紀夫氏を招いての学習会)を読み、さまざまな意見交換を行いました。

<学習会>

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	5/25	日	学習会	オンライン	4人
2	7/27	日	学習会	オンライン	4人
3	9/28	日	学習会	オンライン	3人
4	12/21	日	中止		
5	2/15	土	中止		
6	2/26	木	学習会	オンライン	4人

【福祉対策班】 休班中

【保育・子育て支援班】

2025年度は、デフリンピックや全国ろうあ者大会の視察など、大きな行事がありました。

また、ちば通研講座では南村先生の講演や、班で企画したきこえない人の子育てのミニ講演&座談会を行うなど、会員の皆さんと共に学習の機会を持つことができました。

視察では、ろうあ者大会での保育申し込み者への対応や内容を主に、見学や質問をしてきました。

<学習会>

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	5/24	日	通研講座報告と感想・ミニ講演会	松戸市ふれあい22	5人
2	10/ 5	日	必携内容・ミニ講演会について	オンライン	4人
3	1/21	水	ミニ講演・議案書について	オンライン	5人
4	1/25	日	ミニ講演&座談会	松戸市ふれあい22	21人

<研修>

No.	期日	曜	研 修 内 容	会 場	人数
1	10/25	土	児童文学講座	松戸市	1人
2	2/14	土	「自分で探して考えて選び決める」 日々の遊びを支える保育環境 主催 ろう・難聴教育研究会	オンライン	1人

【ろう教育班】

2025年度は学習会を3回実施し、ろう教育を取り巻く現状や課題について学習しました。

「ろう教育を考えるフォーラム」については、協会の教育・文化委員会より2025年度の開催は見送り、2026年度に行う、と方針が示されました。

<学習会>

No.	期日	曜	会 議 内 容	会 場	人数
1	7/21	月	役割分担・デフリンピック・情報交換	オンライン	4人
2	10/25	土	千葉聾学校参観・情報交換	千葉聾学校	7人
3	2/ 8	日	2025年度反省・2026年度活動計画	オンライン	6人

【労働班】

2025年度は、職場での合理的配慮について等、オンラインでの学習を中心に行いました。学習した内容は、通研だよりを通じ会員に情報提供を行いました。

また千葉県聴覚障害者協会 福祉労働委員会と連携した活動として、労働局への要望書の提出、労働フォーラムを共催しました。

<学習会>

No.	期日	曜	会議内容	会場	人数
1	5/24	日	ハローワークの状況 職場での連携、情報共有について	オンライン	7人
2	7/27	日	就労支援に関する情報交換 コミュニケーション方法についての合理的配慮（就労場面）について 職場での障害理解への取り組みについて	オンライン	5人
3	9/21	日	就労選択支援について ハローワークの求人票や情報保障等について	オンライン	4人
4	2/15	日	千葉県聴覚障害者協会福祉労働委員会との合同学習会（労働フォーラム事前学習会）	らいおん神明	4人

<研修>

No.	期日	曜	研修内容	会場	人数
1	3/20	金祝	労働フォーラム 約30人	千葉聴覚障害者センター	8人

【ICT ちば】

LINE とオンライン会議を通じて議論しています。今年度は役員が共有しているクラウドの OneDrive アクセス権限の新旧役員の入れ替え、プライバシーポリシーの作成、デジタル関係のアカウント管理、会員個人情報の取り扱いとモラルガイドラインの検討を行いました。

<学習会>

No.	月日	曜	内容	会場	人数
1	6/20	金	ICT ちば役割の確認	オンライン	4人
2	10/19	日	個人情報管理(モラルとルール)	オンライン	6人
3	11/28	金	個人情報管理(モラルとルール)	オンライン	5人

【サポーターズ】

サポーターズは、15人が登録して活動しています(2026年3月31日現在)。
内容は、ちば通研だよりの印刷と折り込み、手渡し配布、議案書の印刷、イベントでのお手伝いをしました。感染予防に最大限注意をして行いました。

<印刷日> (敬称略)

No.	月日	曜	参加者	会場	人数
1	4/6	日	郵便局に持ち込み	千葉中央郵便局	2人

2	4/25	金	金子 横田 折原 平野 渡辺	千葉聴覚障害者センター	5人
3	5/30	金	岩井 岡田 河野 金子 折原	千葉聴覚障害者センター	5人
4	6/27	金	中村 笹川 金子 渡辺	千葉聴覚障害者センター	4人
5	7/25	金	大橋 横田 金子 渡辺	千葉聴覚障害者センター	4人
6	8/29	金	菊地 河野 岡田 中澤 平野 折原	千葉聴覚障害者センター	6人
7	9/26	金	岩井 中村 笹川 山田 渡辺	千葉聴覚障害者センター	5人
8	10/31	金	橋谷田 河野 金子 渡辺	千葉聴覚障害者センター	4人
9	11/28	金	岡田 大橋 平野 折原	千葉聴覚障害者センター	5人
10	12/26	木	中村 笹川 山田 渡辺	千葉聴覚障害者センター	4人
11	1/30	金	横田 金子 渡辺	千葉聴覚障害者センター	3人
12	2/27	金	菊地 岡田 金子 平野 折原	千葉聴覚障害者センター	5人
13	3/23	月	渡辺	千葉聴覚障害者センター	1人
14	3/27	金	中村 笹川 平野 岩井 渡辺	千葉聴覚障害者センター	5人

<新芽まつり>

No.	月日	曜	活 動 者	会 場	人数
1	5/18	日	齋藤 高田 河野 米田 平野	千葉聴覚障害者センター	3人 2人

<秋穫祭>

No.	月日	曜	活 動 者	会 場	人数
1	11/23	日	辻 山口美香 橋本 米田 原 矢吹 平野 山田 渡辺裕 石鍋 折原 高橋	千葉聴覚障害者センター	3人 9人

<手話を考えるフォーラム>

No.	月日	曜	活 動 者	会 場	人数
1	2/11	水	金子 矢吹、原、山田、渡辺裕	千葉県文化会館	1人 4人

<耳の日まつり>

No.	月日	曜	活 動 者	会 場	人数
1	3/ 8	日	辻、宇治、屋代 米田、原、矢吹、鶴澤、平野、粉	南総ホール	3人 6人

【講師派遣】

2025年度は、船橋市身体障害者福祉センターと、船橋福祉サービス公社から依頼のあった講座3件に講義講師を派遣しました。

No.	月日	曜	主 催	テーマ
1	4/17	木	船橋市身体障害者福祉センター	手話を学ぶにあたって

2	10/ 6	月	船橋市福祉サービス公社	難聴者が手話を学ぶにあたって
3	10/ 8	水	船橋市身体障害者福祉センター	手話を学ぶにあたって

【書籍】

役員とサポーターズの有志で「しゅわりん」のバッチをつけて、新芽まつり、秋穫祭、手話を考えるフォーラム、耳の日まつり等で書籍販売を行いました。ちば通研だよりでも書籍の紹介を行いました。

【社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会後援会】

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会と連携し、新芽まつり、秋穫祭のイベントを行いました。ブロック各市の福祉まつりなどのイベント行事カンパ、中央ブロック、南総ブロック、北総ブロックにおいて街頭カンパを実施し後援会活動の啓発と資金造成ができました。

また、資金造成部を中心に、後援会オリジナルグッズ（アルファベットネックストラップ新色2色、指文字シールアルファベット3色、50音3色）を製作、販売しました。

No.	月日	曜	内 容	会 場
1	4/12	土	理事会	千葉聴覚障害者センター
2	4/26	日	理事会	千葉聴覚障害者センター
3	5/10	土	理事会	千葉聴覚障害者センター
4	5/18	日	定期総会・新芽まつり	千葉聴覚障害者センター
5	7/12	土	理事会	千葉聴覚障害者センター
6	9/13	土	理事会	千葉聴覚障害者センター
7	11/ 8	土	理事会	千葉聴覚障害者センター
8	11/23	日	秋穫祭	千葉聴覚障害者センター
9	2/ 7	土	理事会	千葉聴覚障害者センター

【情報提供施設事業運営委員会】

情報提供施設事業運営委員会に出席しました。

- ・委員会開催日 年3回 5/20(火)、11/12(水)、3/18(水)

【「聴覚障害者制度改革推進」千葉県対策本部】

構成団体：千葉県聴覚障害者協会、千葉県中途失聴者・難聴者協会、千葉市中途失聴者・難聴者協会、千葉盲ろう者友の会、千葉県手話通訳問題研究会、千葉県手話サークル連絡協議会、全国要約筆記問題研究会千葉県支部、千葉県要約筆記サークル連絡会
全8団体

2025年度の会議はありませんでした。

【千葉県聴覚障害者災害対策本部】

構成団体：千葉県聴覚障害者協会、千葉県中途失聴者・難聴者協会、千葉市中途失聴者・難聴者協会、千葉県手話通訳問題研究会、千葉県要約筆記問題研究会、千葉県手話サークル連絡協議会、千葉県要約筆記サークル連絡会
全7団体

2025年度の会議はありませんでした。

第3号議案 2026年度活動計画(案)について

【2026年度 活動方針】(案)

- 1 組織の拡大
 会員目標 350人(2025年度会員数335人)
 会員拡大に向け、様々な機会を積極的に利用し、啓発活動を行うとともに
 対面とオンラインによるハイブリッド形式での学習会などを通して魅力ある活
 動に努めます。
- 2 組織の充実
 聴覚障害者福祉と手話通訳者の地位向上という本会の目的に沿って、学習・
 研究を積み重ねていきます。
- 3 集会等への参加
 全国手話通訳問題研究集会(サマーフォーラム)等への参加を呼びかけると
 ともに積極的に参加し、情報交換や交流を深めます。
- 4 他団体との連携
 (社会福祉法人)千葉県聴覚障害者協会、千葉県手話サークル連絡協議会、手話
 通訳士協会千葉県支部と共に連携を取り、活動していきます。
- 5 デフスポーツ・サポーターを応援
 東京2025デフリンピックのデフアスリートの活躍を継続して応援をしていく
 ため、デフスポーツ・サポーターの支援者を呼び掛けていきます。

【2026年度 活動計画】(案)

月	ちば通研	全国・関東・その他
4	5日 役員会①	11日 第1回活動運営委員会
	18日 組織部会議①	協会後援会理事会①
	19日 ちば通研定期総会(ハイブリッド)	19日 関東ろう連盟評議員会(埼玉)
	ちば通研講座I(江原こう平氏)	26日 関東支部代表者連絡会議
	26日 N-Actionちば学習会①	全通研代議員会ブロック別会議
	28日 広報部会議①	(神奈川)
	29日 医療班学習会①	
5	1日 ちば通研だより印刷・発送	9日 関東ブロック総会(埼玉)
	2日 役員会②	第2回活動運営委員会
	10日 ろう教育班学習会①	協会後援会理事会②
	16日 組織部会議②	17日 後援会総会・新芽まつり
	23日 保育・子育て支援班学習会①	22日 千葉聾学校運動会
	24日 楽しく未来社会学習班学習会①	23・24日 全通研代議員会(神戸)
	労働班① 医療班学習会②	

	26日 広報部会議② 29日 ちば通研だより印刷・発送 176	
6	7日 N-Actionちば学習会② 14日 地域班会議① 役員会③ 健康対策班学習会① 20日 組織部会議③ 23日 広報部会議③ 26日 ちば通研だより印刷・発送 28日 医療班学習会③	4～7日 全国ろうあ者大会(富山) 5日 全国福祉担当者会議 全国組織担当者会議 20日 日本手話通訳士協会学会 21日 日本手話通訳士協会学会・総会 26～28日 関東ろう者体育大会(山梨) 30日 千葉聾学校授業参観
7	4日 ろう教育班学習会② 5日 ちば通研集会・役員会④ 11日 健康対策班交流会 11日・12日 医療班一泊研修会 18日 組織部会議④ 19日 労働班学習会② 26日 楽しく未来社会学習班学習会② 医療班学習会④ 28日 広報部会議④ 31日 ちば通研だより印刷・発送	4～5日 関東ろう女性集会(栃木) 11日 第3回活動運営委員会 協会後援会理事会③ 18日 Web学習会(埜田和史氏) 26日 関東通研支部代表者連絡会議・ 組織担当者会議 31日 機関誌学校 ～8/2
8	2日 役員会⑤ 15日 組織部会議⑤ 23日 医療班学習会⑤ 25日 広報部会議⑤ 27日 ちば通研だより印刷・発送 177	7～9日 ろう教育を考える全国討論 集会(和歌山) 16日 高校生手話スピーチコンテスト 27日 全国情コミ担当者会議(静岡) 28～30日 サマーフォーラムin静岡 29日 健康よろず相談 N-Actionつどい
9	6日 役員会⑥ 12日 健康対策班学習会② 健康についての座談会 13日 労働班学習会③ 19日 組織部会議⑥ 20日 楽しく未来社会学習班学習会③ 22日 広報部会議⑥ 25日 ちば通研だより印刷・発送 26日 保育・子育て支援班学習会② 27日 地域班会議② 役員会⑦ 医療班学習会⑥	10～13日 全国ろうあ者スポーツ大会 12日 第4回活動運営委員会 協会後援会理事会④ 23日 手話言語の国際デイ 24～27日 全国ろうあ高齢者大会 (愛知)
10	4日 N-Actionちば学習会③ 17日 組織部会議⑦ 24日 ろう教育班学習会③(兼取) 25日 医療班学習会⑦ 27日 広報部会議⑦ 30日 ちば通研だより印刷・発送	3日 関東通研支部代表者連絡会議 全通研代議員会ブロック別会議 4日 労働フォーラム 10日 手話検定試験(5級・4級) 11日 手話検定試験(3級・2級) 17日 手話検定試験(準1級・1級)

		23～26日 全国障害者スポーツ大会 (青森) 24日 千葉聾学校银杏祭
11	1日 ちば通研講座Ⅱ 役員会⑧ 14日 健康対策班学習会③ 21日 組織部会議⑧ 22日 労働班学習会④ 24日 広報部会議⑧ 27日 ちば通研だより印刷・発送 178 29日 楽しく未来社会学習班学習会④ 医療班学習会⑧	6～8日 全国ろうあ者スポーツ大会 7日 第5回活動運営委員会 協会後援会理事会⑤ 15日 秋穫祭 27～28日 全国ろうあ者相談員研修会 全国職業安定所協力員研修会 (埼玉) けいわん患者の交流会(石川) 28日 関東通研支部代表者連絡会議 担当者会議 手話関係者の健康フォーラム (石川)
12	6日 役員会⑨ 12日 健康対策班学習会④ 19日 組織部会議⑨ 20日 医療班学習会⑨ 22日 広報部会議⑨ 25日 ちば通研だより印刷・発送	5日 手話通訳者全国統一試験
1	9日 役員会⑩ 16日 組織部会議⑩ 23日 保育・子育て支援班学習会③ 24日 楽しく未来社会学習班学習会⑤ 労働班学習会⑤ N=Actionちば学習会④ 26日 広報部会議⑩ 29日 ちば通研だより印刷・発送 31日 役員会⑪ 医療班学習会⑩	16～17日 関東ろう活動者研修会 (東京) 24日 関東支部代表者連絡会議 担当者会議
2	7日 ろう教育班学習会④ 20日 組織部会議⑪ 23日 広報部会議⑪ 26日 ちば通研だより印刷・発送 179 28日 地域班会議③ 役員会⑫ 医療班学習会⑪	6日 第6回活動運営委員会 協会後援会理事会⑥ 21日 関東手話言語フォーラム 27日 全通研WEBオープンスクール
3	13日 組織部会議⑫ 健康対策班学習会⑤ 14日 役員会⑬ 労働班学習会⑥ 医療班学習会⑫ 22日 議案書印刷 23日 広報部会議⑫ 26日 ちば通研だより・議案書発送	日 第46回耳の日まつり(千葉) 28日 千葉・会員代表者会議&会員総会

【定期総会】

千葉聴覚障害者センターと集団視聴会場をオンラインで結んで定期総会を4月19日（日）に開催します。

【役員会】

オンラインを基本に、必要に応じて集合による役員会を開催します。

4/5(日) 5/2(土) 6/14(日)対面 7/5(日) 8/2(日) 9/6(日) 9/27(日)
11/1(日) 12/6(日) 1/9(土) 1/31(日) 2/28(日) 3/14(日)

【関東手話通訳問題研究会】

担当者会議だけでなく、会員の皆さんが参加できる学習の機会を検討します。また、支部の垣根を超えた学習機会について、情報発信をしていきます。

4/26(日) 支部代表者連絡会議 代議員会ブロック別会議（春期）
5/ 9(土) 総会 PM
7/26(日) 支部代表者連絡会議 組織担当者会議
10/ 3(土) 支部代表者連絡会議 代議員会ブロック別会議（秋期）
11/ () 関東手話通訳問題研究集会（東京）
11/28(土) 支部代表者連絡会議 担当者会議
1/24(日) 支部代表者連絡会議 担当者会議
2/ () 関東防災フォーラム 関東ろう連・関東通研合同学習会

【広報部】

ちば通研だよりは通常通り郵送により発行します。郵送費の軽減を図るため、データ配信希望者を増やします。毎月サポーターズ印刷日以降にホームページのトピックスに配布したものをお知らせします。

会員の声をできるだけちば通研だよりに掲載するよう努めていきます。

広報部会議

4/28(火) 5/26(火) 6/23(火) 7/28(火) 8/25(火) 9/22(火)
10/27(火) 11/24(火) 12/22(火) 1/26(火) 2/23(火) 3/23(火)

【組織部】

組織部は、地域班が、地域の聴覚障害者団体や手話サークル、諸団体・グループと協働してろう運動を推進する活動を支援します。「つながる」「たかめる」「はたらきかける」（全通研ビジョン2030）を実践する地域班活動を継続していくために、より多くの仲間がお互いに学ぶ場、語り合う場を創ります。

1 会員拡大

a. 事務局と連携をとりながら、会員の拡大を図り、会員目標を350人とします。

代議員 4 人を確保します。

b. 上半期での会員の継続率 100%を目指して、年度開始前からの会費納入を積極的に呼びかけます。

c. 地域班ごとに目標値を定め、継続率と会員状況の提供に努めます。

d. 役員、地域班が協力して未納者への会費未納者への声かけを行います。

e. 地区講座や地域班学習会での一般参加者への働きかけや手話通訳者養成講座受講者への呼びかけなど、地域班会議などを活用して事例を交流し、新規加入のための取り組みにつなげていきます。

2 地域班の新設

地域班に所属していない会員に、地域班会議への出席や、既存の地域班への参加を役員・会員が協力して呼びかけ、地域班設立を支援します。

聴覚障害者の社会的自由の拡大と、手話通訳者の社会的な地位の向上を行政に訴えるためにも、地域の聴覚障害者団体や手話サークルと共に活動する地域班が必要です。

3 組織部会議

地域班活動を支えるために、組織部役員と副会長・広報部長が話し合います。

4/18(土) 5/16(土) 6/20(土) 7/18(土) 8/15(土) 9/19(土)

10/17(土) 11/21(土) 12/19(土) 1/16(土) 2/20(土) 3/13(土)

4 地域班会議・地区別会議

地域班の代表者と全ての役員が情報交換や議論、交流します。

地区ごとの連携を強化します

6/14(日)対面 9/27(日) 2/28(日)

5 ちば通研講座

外部講師を招いて講座を 2 回開催します。4/19(日) 11/1(日)

会員の学習意欲に応え、運動の促進、会員の継続、新規加入に努めます。」

6 講師派遣事業(役員および役員経験者)

地区講座を 5 回 地域班の学習会 5 回実施します。

「つながる」「たかめる」「はたらきかける」の実践の場とします。

7 災害対策(防災・減災)

a. 研究部と共同で地域での災害対策の取り組みを調査します。

b. 地域班に防災・減災担当を置き、担当者会議を設け、交流します。

6/14(日)対面 その後地域班に順次連絡します。

c. 平時と被災時に役立つ連絡、情報交換、通信手段のツールを検討し、試行します。

d. 安否確認訓練を実施します。その情報の活用について検討します。

e. 聴覚障害者団体とともに防災関係団体との関係づくりを応援します。

8 手話言語・情報コミュニケーション条例

制定にむけた取り組み、制定後の取り組みについての情報共有に努め、地域の活動を後押しします。

9 東京 2025 デフリンピックの遺産

これからの活動が、デフリンピックのレガシーとして活かされているかを振り返りながら進めていくように努めます。

10 N-Action ちば

N-Action ちばを組織部の中に位置づけ、次世代の育成を図る活動をします。

※詳細は【N-Action ちば】の項にて記載

11 情報提供

ホームページの「会員専用ページ」および地域班 ML を活用します。
地域班からの情報提供・共有にも努めます。

12 会員登録書

新規会員の全員登録(提出)を促すと共に、本人による点検・変更および退会登録(申請)ができるように検討します。

13 役員の地区選出のあり方

2025 年度に行った地域班アンケートの結果を踏まえて、2027 年度の役員選出方法やちば通研の運営の改善について検討します。

【N-Action ちば】

次世代活動に興味のある会員を対象とし、県内大学等手話サークルや千葉県聴覚障害者協会との連携を図りながら、次世代に活躍する人材を育成することを目的に活動します。

2026 年度は、子育て世代や遠方の会員も参加しやすいように、継続してオンラインでのミーティング等を実施します。また、行事の企画・運営等を含めた、千葉県聴覚障害者協会青年部や県内大学等手話サークル、他県の N-Action 世代の会員との連携も図っていきたいと思います。

- 1 学習会の実施。(年 4 回予定) 20:00-21:00 オンライン
4/26 (日) 6/7 (日) 10/4 (日) 1/24 (日)
- 2 茶話会の実施。N-Action ちば以外のメンバーも参加可能。
秋頃、対面での実施予定。
- 3 県内大学等手話サークルとの連携を図る。
- 4 千葉県聴覚障害者協会との交流・連携及び情報交換。
三団体会議や双方の事務局を通して行う。
- 5 他県の N-Action 世代の会員との交流・連携。

【研究部】

研究部の活動も下記の計画に沿って進められるように努力します。

- 1 各専門班の連携を主軸とします。
- 2 今後サマーフォーラムにレポート提出することを目標にする。
- 3 ちば通研集会を開催します。

【医療班】

班学習会で医療情報の収集等を行い、ちば通研だより、出前講座やオンラインなどを通じて情報の提供を行います。

- 1 班学習会(月 1 回予定)

4/29(水・祝) 5/24(日) 6/28(日) 7/26(日) 8/23(日) 9/27(日)
10/25(日) 11/29(日) 12/20(日) 1/31(日) 2/28(日) 3/14(日)
※一泊研修会 7月11日(土)・12日(日)

- 2 出前講座・押しかけ講座など、県内各地で医療情報を提供する。
(オンラインも検討)
- 3 県薬剤師会、県放射線技師会など関係団体との協力体制の構築
- 4 新規班員の拡大
- 5 オープンデイの開催

【健康対策班】

手話通訳者や手話関係者の健康問題についての学習を深めるための取り組みを行い、ストレッチの普及に努めます。

- 1 班の学習会などの開催
6/14(日) 9/12(土) 11/14(土) 12/12(土) 3/13(土)
健康対策班交流会 7/11(土)
健康について座談会 9/12(土)
- 2 手話通訳者の健康問題についての学習会を開催し健康普及員の育成に努めます。
- 3 ストレッチの普及に努めます(ちば通研の行事等を利用)。
- 4 健康についての情報発信に努めます(ちば通研だよりに掲載等)。
- 5 全通研の調査に協力します(雇用された手話通訳者の動態調査)。

【楽しく未来社会学習班(TMG)】

2026年度は対面での学習会を中心に行います。ろう運動について学び直し、地域や社会資源とつながりながら、きこえない人とともに生きる社会ビジョンの構築に努めます。

- 1 班学習会の開催 10:00~12:00
5/24(日) 7/26(日) 9/20(日) 11/29(日) 1/24(日)
- 2 聴覚障害理解を社会に広める取り組みに向けた学習を行い、提起します。
- 3 『マンガで読む手話通訳事例集』などを用いて手話通訳について学習します。

【福祉対策班】 休班中

【保育・子育て支援班】

女性部との連携を強化し、協力体制をとっていきたいと思います。
また、聴覚障害者から学ぶ機会を作り、ミニ講演会・座談会を開く。
一緒に活動する班員や会員拡大を図る。

- 1 班学習会の開催 5/23(土) 9/26(土) 1/23(土)

- 2 行事での保育アドバイス、協力
- 3 保育や子育て、ろう教育に関する講演会・研修会・行事への参加

【ろう教育班】

2026年度も引き続き千葉県聴覚障害者協会の教育・文化委員会と連携を図り、行事等に協力します。

- 1 班学習会の開催
5/10(日)9:00～11:00 7/4(土)9:00～11:00 10/24(土)银杏祭見学後昼食会
2/7(日)9:00～11:00
班員の意見を聞きながら一部対面での学習会を企画します。
- 2 千葉県聴覚障害者協会（教育・文化委員会）や聴覚障害者教職員グループとの合同会議の場を設けます。
特に「ろう教育を考えるフォーラム」開催に向け定期的な会議の場をもったり、教育現場での情報保障について意見交換をしたりします。
- 3 その他
(1)千葉聾学校银杏祭の参加 10/24(土)
(2)「ろう教育を考えるフォーラム」に協力
(3)保育・子育て支援班との連携について協議します。

【労働班】

学習会等を通じ、労働場面での問題・課題について学び、改善へとつながる活動に取り組んでいきます。また班での学習を関東や全国の活動へと繋げていきます。県聴覚障害者協会福祉労働委員会との連携した活動にも取り組みます。

- 1 班学習会の開催（年6回開催）
 - ・オンラインを中心に対面での開催も取り入れながら開催します。
 - ・5/24(日) 7/19(日) 9/13(日) 11/22(日) 1/24(日) 3/14(日)
- 2 全通研集会や労働に関するフォーラム等への積極的参加
- 3 ちば通研会員等への労働問題等に関する情報提供への取り組み
- 4 研究部の他の部班とも協力し、学び・運動へとつながる取り組み

【ICT ちば】

2025年度に作成したプライバシーポリシーを具体的に活動の実務に活かし、会員個人情報の取り扱いルールやモラルを役員の間で共有、徹底します。また、デジタル関係のアカウントを整理し、ちば通研の活動を見直すなかで、ICTの役割を考えていきます。

ICTに関心と理解のある会員のみなさんと一緒に自由な議論をしますので、ぜひICTちばにご参加ください。

【サポーターズ】

ちば通研活動のお手伝い(ちば通研だより・行事など)を主に行います。
作業をやりながらの情報交換も行います。

サポーターズのメンバー1人あたり、年間4回程度のボランティア活動をお願いしています。

サポーターズのメンバーを募集しています。

1日のみ、午前のみ、午後のみのお手伝いも可能です。

2026年度(予定)

- 1 印刷と袋詰め作業日(太字は研究誌あり) 金曜日を予定
5/1 **5/29** 6/26 7/31 **8/27(木)** 9/25 10/30 **11/27** 12/25
1/29 **2/26** 3/26
- 2 時 間 9時30分から15時00分まで
- 3 会 場 千葉聴覚障害者センター 2階会議室

【講師派遣】

千葉聴覚障害者センター、その他団体からの講師派遣依頼に対応します。

【書籍】

各行事、集会等での販売を促進します。

全通研本部からの新刊案内を「ちば通研だより」に掲載し、販売実績につながるようPRします。

【(社福)千葉県聴覚障害者協会後援会】

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会と連携し、後援会活動を行います。

定期総会・新芽まつり・秋穫祭のイベント開催と各ブロックの状況を見ながら個人募金箱依頼と回収、店頭募金箱設置依頼、各種行事募金、街頭カンパを行います。

- 1 理事会開催 4/11(土) 5/9(土) 7/11(土) 9/12(土) 11/7(土) 2/6(土)
- 2 定期総会 5/17(日)
- 3 イベント 新芽まつり 5/17(日)
秋穫祭 11/15(日)

【情報提供施設事業運営委員会】

委員として、年3回開催される運営委員会に出席します。

【「聴覚障害者制度改革推進」千葉県対策本部】

他団体と共に運動推進に協力します。

【千葉県聴覚障害者災害対策本部】

聴覚障害者団体と連携しながら災害時の安否確認や支援に協力します。

MEMO

A series of ten horizontal lines for writing, each consisting of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

